泌尿器科医師　竹内　佳代

４月から東近江総合医療センター泌尿器科に赴任しました竹内佳代と申します。滋賀県内で２年臨床研修を経て泌尿器科医２年目となります。気になる症状について気兼ねなくご相談いただけるようひとりひとりの患者さんと丁寧に向き合っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

臨床研修医　堺本　瑞穂

研修医１年目の堺本瑞穂と申します。
ややこしいのですが出生地は滋賀、出身地は千葉、出身大学は山形です。
２年間精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

臨床研修医　竹節　恵介

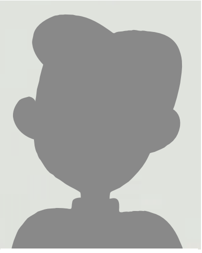
滋賀医大出身で研修医１年目の竹節恵介と申します。
メキシコと日本のハーフでよく沖縄出身と間違われますが、京都で生まれ育ちました。迷惑ばかりかける２年間になると思いますが、どうぞよろしくお願いします。

臨床研修医　中谷　工

はじめまして。この度臨床研修医として入職しました中谷工と申します。
滋賀医科大学卒業です。学生の頃からお世話になっているこの病院で初期研修ができることをうれしく思います。どうぞよろしくお願い致します。

臨床研修医　吉見　伸久

はじめまして。
滋賀医科大学を卒業し、初期研修医として働かせて頂くことになった吉見伸久と申します。一人一人の患者さんとの出会いを大切にし、多くのことを学ばせていただきたいと考えております。よろしくお願い致します。



臨床研修医　岩井　修平

お世話になります。研修医１年目の岩井修平と申します。
至らないことも多くご迷惑おかけすることも多いと思いますが、積極的に色々なことを学び、日々たくさんのことを吸収したいと思います。どうぞ宜しくお願いします。

編集後記

新年度がはじまり、新しい先生方を迎えることができました。この紙面を借りてご紹介申し上げます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

つながり No45　2022年５月発行
東近江総合医療センター　広報委員会
〒527-8505 滋賀県東近江市五智町255番地
TEL 0748-22-3030　FAX 0748-23-3383
https://higashiomi.hosp.go.jp/index.html

地域医療支援病院
滋賀県地域がん診療連携支援病院
独立行政法人国立病院機構
東近江総合医療センター

国立病院機構東近江総合医療センター広報誌

Vol.45
2022/5

つながり

脳神経外科外来の再編に当たって

副院長　脳神経外科　野﨑　和彦

　脳神経外科は基本的診療領域の１つとして位置づけられており、「脳・脊髄に生じる疾患の予防、急性期治療、慢性期治療」を行う診療科であり、脳、脊髄、末梢神経系およびその付属器官（血管、骨、筋肉など）を含めた神経系全般の疾患のなかで主に外科的治療の対象となりうる疾患について診断、治療を行います。脳神経外科医は「外科医の目と技を持った神経系総合医」を目指しています。神経系疾患に対して外科的視点からも対応できる診療科として地域基幹病院の診療救急機能を維持しており、一般病院や診療所・クリニックにおける脳神経外科医も第一線で地域医療に貢献しています。また、高難度医療を要する場合は大学病院などと密に連携することが必要です。脳神経外科医が行っている医療業務として、一般的な救急対応、MRI、CT、血管撮影などの画像診断、種々の神経疾患に対する薬物治療を含めた非外科的治療、外科的治療および術前術後管理、リハビリテーションへの関与、長期予後管理と再発予防などがあります。

　脳・脊髄という中枢神経系の主な疾患として、血管障害（いわゆる脳卒中や脊髄血管病変）、腫瘍性病変（脳腫瘍や脊髄腫瘍）、外傷（急性および慢性の頭蓋内出血、頭蓋骨骨折など）、脊椎疾患（変形性脊椎症、椎間板ヘルニア、脊椎間狭窄症など）、機能的疾患（てんかん、不随意運動など）、その他（顔面けいれん、三叉神経痛、正常圧水頭症など）があります。また、現れる症状として、頭痛、手足の感覚障害（ビリビリする、触った感じがわかりにくい）や運動障害（動かしにくい）、言語障害（言葉が出にくい、人の話を理解しにくい）、複視（物が二重に見える）、難聴（聞こえにくい）、嚥下障害（飲み込みにくい、むせる）などがあります。

　脳神経外科は本来ならば脳神経内科と連携しつつ業務することが理想ですが、本院では２年前より脳神経内科医が不在となっております。また、脳神経外科も非常勤体制で外来診療を行ってまいりました。しかし、高齢化の進行が進む中、地域医療へ貢献するためには神経系疾患への対応を避けて通ることはできません。この４月より着任させていただき、まず神経系疾患への対応を徐々に再開させていただきたく、脳神経外科外来を再編させていただきます。また、これまで通り、神経系を含めた救急疾患に対応させていただきます。上記疾患に対してご紹介いただき、院内の関連診療科との協力をとりながら対応させていただきます。また、適切な診断および説明ののち、近隣の病院や滋賀医科大学などと連携しつつ適切な治療へ結びつけます。地域の患者さんで日常生活に支障をきたすような神経症状でお困りの方がおられましたら、是非受診をお勧めください。治療方針についてのセカンドオピニオンにも対応させていただきます。

独立行政法人国立病院機構
東近江総合医療センター

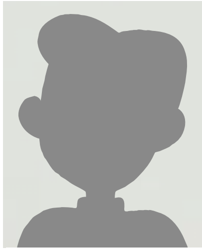
新任医師のご紹介

副院長　野﨑　和彦

この春より副院長職を拝命致しました野﨑と申します。大学病院での経験を活かしつつ、本センターの使命である、地域で活躍する人間性豊かな医療人の育成、臨床研究の推進、地域に支えられ信頼される医療の実践をさらに進めてまいります。宜しくお願い申し上げます。

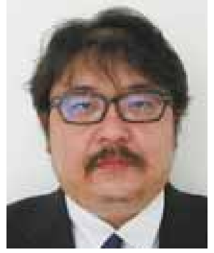
総合内科医師　松村　裕

総合内科医師の松村裕と申します。家庭医をめざしており、地域の皆様のニーズに合った医療を提供し、地域に貢献できるように努力したいと考えております。



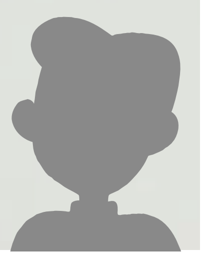
糖尿病・内分泌内科医師　鈴江　隆志

令和 4 年 4 月より着任しました糖尿病内分泌内科の鈴江です。糖尿病は多くの合併症を引き起こす疾患で、地域医療にとって最も重要なテーマの 1 つです。東近江総合医療センターは地域医療の中核であり、糖尿病に特化された看護師さんや管理栄養士さんも多数おられます。常に感謝の気持ちを持って日々の診療に取り組みたいと思います。



消化器内科医師　桂木　淳志

若輩者ではありますが、滋賀県の医療の一端を担えるように頑張りたいと思います。これからも宜しくお願いいたします。



消化器内科医師　柴田　直季

今年度より働かせていただきます柴田直季です。当院で多くの症例に触れ、成長出来るように頑張ります。よろしくお願い申し上げます。

循環器内科医師　内貴　乃生

この病院はとてもアカデミックな雰囲気で若い先生や学生の方も多く、身の引き締まる思いです。医師 20 年目となり新しい知識への貪欲さが欠けていた折、改めて学びの場を与えて頂いたと考えております。私からも皆様に何か還元できるよう努めてまいります。何卒宜しくお願い致します。

外科医師　永井　望

昨年度まで滋賀医大で勤務をしておりました永井望と申します。
至らぬ点も多々あるかとは思いますのが地域の皆さまのお役に立てるよう精一杯頑張りますのでどうかよろしくお願いいたします。

整形外科医師　牛山　文孝

2022 年度より東近江総合医療センター整形外科に赴任致しました牛山文孝と申します。県外の大学を卒業後、草津総合病院（現淡海医療センター）で初期研修を行った後、昨年度は整形外科医として大津赤十字病院で勤務しておりました。少しでも地域の皆様に貢献できるよう精進して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

皮膚科医師　平野　慎悟

はじめまして。滋賀生まれ滋賀育ち、シカに通行妨害されイノシシに轢き逃げされながら田舎暮らしの良さを実感している皮膚科 2 年目の平野と申します。4 月から東近江総合医療センターでお世話になっております。新米なりに精進していきたいと思いますのでよろしくお願いします。

産婦人科医長　高橋　顕雅

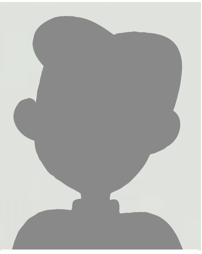
大学病院、市中病院勤務、海外留学を経て、4 月より赴任しました高橋顕雅（あきまさ）です。婦人科腫瘍、腹腔鏡手術を専門にしております。地域の医療ニーズに合わせ、東近江ならではの診療の創出を目標に努力して参ります。

産婦人科医師　平田　貴美子

沖縄県立病院、滋賀医大、公立甲賀病院で勤務した後、大阪の生殖医療専門のクリニックで 4 年近く勤務しておりましたが、この度また滋賀県に戻って参りました。久々の病院勤務であり、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

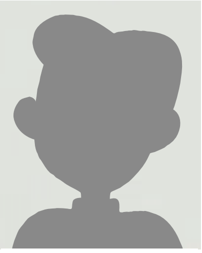
産婦人科医師　鯉川　彩絵

初めまして、産婦人科に新しく配属となりました鯉川彩絵です。
金沢大学でしばらく勤務をしたのち、滋賀医科大学産婦人科へ去年より入局いたしました。コロナ渦以前は飲み会が大好きでした。今は子育てと仕事の両立に必死の状態です。至らない点も多いと思いますが、よろしくお願いいたします。



放射線科医長　外山　哲也

4 月より放射線科赴任いたしました。平成 8 年度京都府立医科大学卒、外山哲也です。
卒業後、11 年消化器内科に従事し、その後放射線科に転向、放射線科診療に従事しています。やや遠回りした経験をおろそかにしないよう、臨床経験に基づいた画像診断、IVR をかかげ、日々精進しています。放射線科としては腹部中心に体幹を専門に、また IVR では根治的あるいは介在的に他科につなぐ治療を意識して診療しています。
他科他部門に広く開かれた放射線科と臨床に寄り添った放射線科診療を目指します。よろしくお願いいたします。



歯科口腔外科医師　村上　翔子

この度、4 月から歯科口腔外科に赴任して参りました村上翔子と申します。
私は、平成 23 年に大阪大学を卒業後、滋賀医科大学歯科口腔外科学講座に入局し、同大学附属病院で 5 年間臨床経験を積ませて頂きました。その後、同大学大学院医学研究科を卒業し、前赴任先、淡海医療センター（旧：草津総合病院）で 2 年間お世話になり現在に至ります。まだ新しい環境に不慣れな点があり、日々身の引き締まる思いでおります。積極的に自身のスキルアップに努め、東近江地域の皆様のお口の健康に少しでも貢献できるように最善を尽くして参ります。地域の先生方にお世話になる機会も多いことと存じます。今後とも　ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。